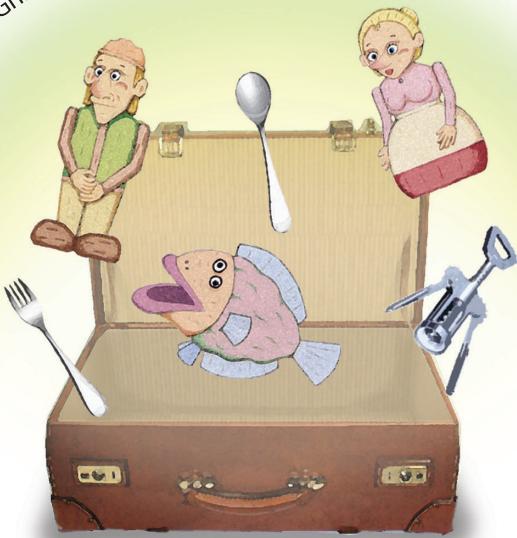


# グリム童話燕屋風ア・ラ・カルト グリムのかばん

"Grimm's Bags" performed by KUSUNOKI Tsubame



グリム童話は、ずっと気になっていました。

それをどのように舞台にのせるのか、ずっと悩んでいました。

「人形劇って何だろう?」「観客の想像力を刺激する舞台ねえ?」

「モノを遣うからこそその、面白い表現ってあるよなあ?」

自問自答を繰り返しながら、つくってきた作品です。

『グリム童話』より

脚本・演出・出演:くすのき燕／美術:益子 淳・くすのき燕



くすのき 燕

ブーケ人形劇アカデミー卒。

エツコ・ワールド創設以来、16年にわたり、同社で人形劇の出演・演出などを務める。

2005年春、「人形芝居 燕屋」を旗揚げ。

2006年春、信州に拠点を移し全国を巡回中。

また、他劇団の演出やワークショップなどにも力を注いでいる。

演出作のシアタートライアングル『Four Seasons』で、チェコの国際人形劇祭「マティンカ'09」でグラントリーを受賞。

ばいぶべば劇場、デフ・パペットシアター・ひとみ、人形劇団京芸、人形劇団むすび座、人形劇団ボボロなどのプロ人形劇団のほか、ましゅ&Kei、表現教育研究所、山の音楽舎などのプロの芸能・音楽団体や飯田市民による『人魚姫』でも演出を担当している。

かばんから、グリム童話が  
次々とびだしてきます。  
皆さん、よくご存知のお話が、  
どんな人形劇に  
なっているのか、いないのか?  
それは見てのお楽しみ。

様々なスタイルで、  
グリム童話を上演します。  
上演予定作品は  
『いばら姫』『赤ずきん』  
『漁師とその妻』です。

「with タカパーチ バージョン」もあり〼。  
20種類の楽器を自在にあやつるタカパーチ氏  
との共演です。

つばめや  
人形芝居 燕屋

〒390-1243 長野県松本市神林5108-8

TEL&FAX 0263-58-1357

E-mail [kusunoki@tsubame.net](mailto:kusunoki@tsubame.net)

URL <http://tsubame.net>